

今月のことば

咲いているのは
今だが
いま咲いたのでは
ないのだ

(東井義雄『東井義雄詩集』「山つつじ」より)

龍谷大学非常勤講師
小池 秀章 こいけひであき

山つつじは、四月から五月にかけて、綺麗な花を咲かせます。私たちは、花が咲いていると「綺麗な花が咲いているなあ」と感動しますが、山つつじが花を咲かせるまでのことに、思いを向ける人は、あまりいません。

山つつじは、長い冬の間、重く冷たい雪の下で、用意をしていたのです。春の到来を信じて、花の用意をしていたのです。ですから、咲いているのは今だが、いま咲いたのではないのです。私たちの人生もそれと同じで、「いま、ここ」で起こっていることは、「いま、ここ」で起こっているのだけれど、「いま、ここ」で起こったのではないのです。そのことが起こるまでに、多くの用意をしていたはずなのです。

ここで、一つの思いが湧きました。用意をしたのは、私だけなのだろうか。ある結果を求めて一生懸命努力することは、必要ですし、とても大切なことです。けれど、私の努力だけでなく、私の努力を支えてくれた多くの「お蔭さま」もあったはずなのです。

「いま、ここ」で結果という花が咲いているのは、私の努力とともに、どれだけ多くの「お蔭さま」があったか、そのことを忘れてはいけません。と仏さまは、喚びかけてくださっています。仏さまに喚び覚まされながら、大切なことを忘れず、この人生を歩んでいきたいものです。

台掌